



令和7年 1月 31日
2月号 No.469
発行責任者
校長 西村 学徳
所在地 福生市熊川 623

学校で一番大切な行事とは？

校長 西村 学徳

学校の紅梅のつぼみも膨らみ、寒い中にも春の息吹が感じられます。先日の道徳授業地区公開講座には、多くの方にご参観いただき、誠にありがとうございました。

さて、今年度、学校づくりのキーワードの1つに「安全・安心」を挙げてきました。身体的にも精神的にも学校が「安全・安心」であることは、子供たちがより良い学校生活を送る上で、何よりも大切な基盤と考えています。

上記のことを考えたとき、私が若手時代に先輩の先生から言われたある言葉を思い出しました。

「学校行事で、一番大切な行事は何だと考えている？」

私は、「うーん、運動会か卒業式ですかねえ。どちらもビックイベントですから。」と答えました。すると先輩は「私は、避難訓練だと思っているよ。命を守れなかったら、楽しいことも学ぶこともできないでしょ。」と言いました。その言葉に驚くとともに「なるほど。」と思ったのを覚えています。もちろん、学校の全ての行事は、どの行事も価値のある重要なもので、上も下も決められるものではありませんが、避難訓練はそのぐらい重視されるべき大事なものであることをその時に強く考えさせられました。（※避難訓練は、学習指導要領において、学校行事〈健康安全・体育的行事〉の1つと示されています。）

本校では毎月、様々な状況を想定して避難訓練をしています。1月は地震の想定で児童への「予告なし」で実施しました。災害はいつ起こるか分かりません。1月13日も九州で大きな地震が起きたばかりです。災害安全に関するこれまでの学びがきちんと子供たちに身に付いているか、確認する良い機会だと考えていました。突如、校内放送に鳴り響く緊急地震速報。子供たちがさっと机の下にもぐる様子が見られました。校庭で体育をしていたクラスは校庭の中央に集まり座っています。その後も整然と行動し、素晴らしかったです。毎回の避難訓練では、校長から3つの避難行動（倒れてこない・落ちてこない・移動してこない場所に行く）・2つの避難姿勢（サルのポーズ・ダンゴムシのポーズ）を繰り返し伝えてきましたが、今回、子供たちに確認すると多くの児童がさっと答えていました。子供たちの避難の様子や問いかけへの反応から、避難訓練での学びが定着してきている様子が伺えました。報道等でよく耳にする南海トラフ巨大地震は30年以内に80%程度の確率で起きると言われています。災害に限らず、どんな状況でも自分の命は自分で守れるよう、引き続き安全指導を行っていきます。



2月は、創立150周年記念展覧会があります。こちらも子供たちにとって、とても大切な行事です。皆様にも子供たちが創り出す素敵な作品・空間をお楽しみいただきたいと思います。今月もよろしくお願いします。